

# Maxwell<sup>®</sup> RSC Whole Blood DNA Kit (カタログ番号 AS1520) 簡易マニュアル

## ご用意いただくもの

- (オプション) ローテーター
- ピペットマン (P-200、P-1000)とそれらのチップ

## 血液からのDNA抽出の手順

EDTA, ACD, ヘパリンのいずれの採血管もご利用いただけます。

ただし、抽出したDNAを以降の実験にご利用になる場合、EDTA採血管を推奨します。

- 血液サンプルを少なくとも5分間、室温で撹拌する(ローテーターなど利用する)。

## カートリッジの準備

1. 検体数分のカートリッジをMaxwell<sup>®</sup> RSC/CSC Deck Trayに立て、順にアルミシールを剥がす。  
カートリッジの両端がカチッというまで、しっかりとセットする  
注意：サンプル数が16より少ない場合には、Maxwell<sup>®</sup> RSC/CSC Deck Trayの中央部分をお使いください。

2. 同数のElution Tubeをセットし、60 $\mu$ lのElution Bufferを加える。

Elution Bufferは60~150 $\mu$ lを加えることができます。ただし、60 $\mu$ の場合、磁性ビーズの持ち込みの割合が高くなります。Elution Bufferのボリュームを増やすことによりキャリアオーバーを減少させることができます。

**Elution Tubeのフタは絶対に閉めないでください。**



3. カートリッジのウエル8に、プランジャーを置く。

4. 5分間の撹拌が完了した血液 50~500 $\mu$ lを、カートリッジのウエル1に添加する。

ウエル1は最も大きなウエルです。カートリッジラベルに一番近く、Elution tubeからは最も遠い位置にあります。

5. Maxwell RSC Instrumentを起動し、Startから『Whole Blood DNA』を選択する。

6. Maxwell<sup>®</sup> RSC/CSC Deck Trayを、Maxwell<sup>®</sup> RSC本体にセットし、精製操作をスタートする。

### 精製終了後の操作

1. Maxwell RSC® Instrumentのドアを開け、Elution Tubeのフタを閉める。
2. Maxwell® RSC/CSC Deck Trayを取り出し、Elution Tubeを適切に保管する。
3. Maxwell RSC® Instrumentのドアを閉める。カートリッジとプランジャーを廃棄する。

#### 備考：

- 精製工程が終了後、Elution Bufferの量は約15～25μl程度減少します。
- Elution Tube内に、磁性体ビーズはいくぶん残存します。Elution Bufferの量を増やすことにより、残存量を軽減できる可能性があります。

